

届出

[平成21年度設置]

計画の区分：大学院研究科の専攻の設置

注1

日本獣医生命科学大学大学院

獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 日本医科大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学院課

職名・氏名 カチョウ 課長 シミズ 清水 カスヒロ 和弘

電話番号 0422-31-4151

（夜間） 03-3812-4295

F A X 0422-33-2094

e-mail k.shimizu@nvl.u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 日本医科大学

(2) 大学名

日本獣医生命科学大学

(3) 大学の位置

〒180-8602
東京都武蔵野市境南町1-7-1
(〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5)

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(テラシ アキオ) 赫 彰 郎 (平成13年12月25日)		
学 長	(イケモ シゲノリ) 池本 卯典 (平成11年10月1日)		
研究科長	(イマイ ソウイチ) 今井 壮一 (平成18年4月1日)		
獣医学部長	(シミズ カズマサ) 清水 一政 (平成17年4月1日)		
応用生命科学部長	(アサザワ リョウゾウ) 阿久澤 良造 (平成18年4月1日)		

(注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してくだ

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻(修士課程) 修士(獣医保健看護学)	2年	8人	16人	基礎となる学部等 獣医学部獣医保健看護学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
A 入学定員	()人	()人	8(一)人	1.25倍	
志願者数	()	()	11(一)		
受験者数	()	()	11(一)		
合格者数	()	()	10(一)		
B 入学者数	()	()	10(一)		
入学定員超過率 B/A	()	()	1.25(一)		

- (注) 1 ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
1年次	[]	[]	10[-]	
2年次	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[]	[]	10[-]	

(注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況 (該当なし)

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

〈獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻 (修士課程)〉

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎獣医保健看護学分野	動物感染症学特論	1前		2		1					
	野生動物医学特論	2後		2		1					
	動物看護生理学特論	1前		2			1				
	分子遺伝学特論	2前		2			1				
	公衆衛生学特論	1後		2			1				
	動物微生物学特論	1後		2				1			
	動物生態学特論	1前		2				1			
	基礎獣医保健看護学特別演習	1通		4		2	2				
	基礎獣医保健看護学特別研究	1・2通		8		2	2				
臨床獣医保健看護学分野	実践動物看護学特論	1前		2		1					
	動物看護病態学特論	2後		2		1					
	動物看護代謝学特論	1後		2				1			
	動物看護倫理・教育学特論	1後		2				1			
	動物行動学特論	2前		2					1		
	臨床検査学特論	2前		2					1		
	臨床獣医保健看護学特別演習	1通		4		2					
	臨床獣医保健看護学特別研究	1・2通		8		2					
	共通	特別講義	1通	4			4	3	4	2	

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 17	科目	科目 18	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	変更なし

(3) 未開講科目 (なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目 (なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は, 設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は, 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- 3 「(3) 未開講科目」は, 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は, 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には, 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本医科大学と共用			
	校舎敷地	27,097.41㎡	13,219.81㎡	9,343.22㎡	49,660.44㎡				
	運動場用地	0.00㎡	15,330.33㎡	0.00㎡	15,330.33㎡				
	小 計	27,097.41㎡	28,550.14㎡	9,343.22㎡	64,990.77㎡				
	そ の 他	60,169.00㎡	68,184.73㎡	337,133.97㎡	465,487.70㎡				
	合 計	87,266.41㎡	96,734.87㎡	346,477.19㎡	530,478.47㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本医科大学と共用			
		21,866.81㎡ (21,866.81㎡)	4,579.72㎡ (4,579.72㎡)	23,988.16㎡ (20,810.66㎡)	50,434.69㎡ (47,257.19㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室 室	演 習 室 室	実験実習室 室	情報処理学習施設 室 (補助職員 人)	語学学習施設 室 (補助職員 人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		大学全体 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体	
	大学全体	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
(6) 図 書 館		面 積 ㎡	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
(7) 体 育 館		面 積 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	1,491千円	1,677千円	図書購入費	34,200千円	34,200千円	34,200千円	
	共同研究費等	57,000千円	89,000千円	設備購入費	91,300千円	91,300千円	155,076千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,030千円	830千円	—	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要		国庫補助金、寄付金及び手数料収入							

(注) 1 届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

2 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		日本獣医生命科学大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
獣医学部									
獣医学科	6	80		480	学士(獣医学)	1.17	昭和24	東京都武蔵野市境 南町1-7-1	
獣医保健看護学科	4	80		320	学士(獣医保健看護学)	1.19	平成17		
応用生命科学部									
動物科学科	4	80		300	学士(動物科学)	1.10	昭和24		
食品科学科	4	80		310	学士(食品科学)	1.11	昭和42		
19年度に60→80名に定員増 19年度に70→80名に定員増									
大学 の 名 称		日本医科大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
医学部									
医学科	6	110		610	学士(医学)	1.00	昭和27	東京都文京区千 駄木1-1-5	
21年度に100→110名に定員増									

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 2 設置届出書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻（修士課程） >

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	フクシヨ アキオ 福所 秋雄 (62)	平成21年4月	動物感染症学特論 基礎獣医保健看護学特別演習 基礎獣医保健看護学特別研究 特別講義			フクシヨ アキオ 福所 秋雄 (62)			
専任	教授	サコウ トシノリ 佐向 敏紀 (54)	平成21年4月	実践動物看護学特論 臨床獣医保健看護学特別演習 臨床獣医保健看護学特別研究 特別講義			サコウ トシノリ 佐向 敏紀 (55)			
専任	教授	ユモト ノリオ 湯本 典夫 (60)	平成21年4月	動物看護病態学特論 臨床獣医保健看護学特別演習 臨床獣医保健看護学特別研究 特別講義			ユモト ノリオ 湯本 典夫 (60)			
専任	教授	カジガヤ ヒロシ 梶ヶ谷 博 (56)	平成21年4月	野生動物医学特論 基礎獣医保健看護学特別演習 基礎獣医保健看護学特別研究 特別講義			カジガヤ ヒロシ 梶ヶ谷 博 (56)			
専任	准教授	ハカマダ ヨウジ 袴田 陽二 (48)	平成21年4月	動物看護生理学特論 基礎獣医保健看護学特別演習 基礎獣医保健看護学特別研究 特別講義			ハカマダ ヨウジ 袴田 陽二 (48)			
専任	准教授	オウミ トシノリ 近江 俊徳 (42)	平成21年4月	分子遺伝学特論 基礎獣医保健看護学特別演習 基礎獣医保健看護学特別研究 特別講義			オウミ トシノリ 近江 俊徳 (42)			
専任	准教授	コバヤシ マリコ 小林 真理子 (45)	平成21年4月	公衆衛生学特論 特別講義			コバヤシ マリコ 小林 真理子 (45)			
専任	講師	イシオカ カツミ 石岡 克己 (41)	平成21年4月	動物看護代謝学特論 特別講義			イシオカ カツミ 石岡 克己 (41)			
専任	講師	マキノ 牧野 ゆき (40)	平成21年4月	動物看護倫理・教育学特論 特別講義			マキノ 牧野 ゆき (40)			
専任	講師	アオキ ヒロシ 青木 博史 (38)	平成21年4月	動物微生物学特論 特別講義			アオキ ヒロシ 青木 博史 (38)			
専任	講師	ヤマモト トシアキ 山本 俊昭 (35)	平成21年4月	動物生態学特論 特別講義			ヤマモト トシアキ 山本 俊昭 (36)			
専任	助教	ミスコシ ミナ 水越 美奈 (44)	平成21年4月	動物行動学特論 特別講義			ミスコシ ミナ 水越 美奈 (44)			
専任	助教	アザカミ タロ 皆上 大吾 (34)	平成21年4月	臨床検査学特論 特別講義			アザカミ タロ 皆上 大吾 (34)			

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	3	4	2	13	0							変更なし
(4)	(3)	(4)	(2)	(13)	(0)	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(3) 専任教員辞任等の理由 (該当なし)

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、設置届出書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - 3 辞任者は「備考」欄に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - 4 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - 5 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。
 - 6 「(2) 教員数」の「届出時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)
 - 7 「(3) 専任教員辞任等の理由」欄には、届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 - 8 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 その他全般的事項

<獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻(修士課程)>

(1) 設置計画変更事項等 (特になし)

届出時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成20年4月に学長の諮問機関としてFD委員会を設置した。

現在、FD委員会規則制定を準備している。

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

平成20年度 年4回開催 (5/27, 9/10, 12/3, 3/4)

委員(教員)は、5人(毎回4人以上出席)

c 委員会の審議事項等

- ・教育内容及び方法等の改善のための企画及び実施に関すること。
- ・FD委員会活動報告書の作成に関すること。
- ・その他FD活動の推進に関すること。
(授業評価アンケートの実施・活用について)
(アンケート項目の見直しについて)
(FD講演会の開催について)

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

- ・新任・昇任教員のためのFDワークショップ参加 (同一法人内の日本医科大学が行うワークショップに本学から毎年3~4名参加している。
- ・FDワークショップ参加 (同一法人の日本医科大学が行う教育技法に関するワークショップに本学から毎年3名参加している。
- ・授業評価アンケートの実施及び評価上位者に対する授業での工夫に関するアンケートを実施し、結果を授業改善に役立てるよう、メールにて配信した。
- ・外部講師を招き、全専任教員を対象にFD講演会を2回実施した。

b 実施方法

- ・新任・昇任ワークショップは毎年4月中旬に2日間学外にてタスクフォースを指導・助言者として開催
- ・FDワークショップは毎年6月下旬に2日間学外にてタスクフォースを指導・助言者として開催
- ・授業評価アンケートは毎年前後期末の最終授業の際に科目担当者が実施し、集計結果を各担当者に配布
アンケート結果は学生サイトに公開するとともに、評価上位者の授業の工夫についてアンケートを実施。
- ・講演会は2回とも教授会終了後開催し、各回約45%の教員が参加した。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 新任・昇任ワークショップは上述のとおり毎年3～4名参加させている。内容はSGL教育などである。
 - ・ FDワークショップは上述のとおり毎年3名参加させている。内容は到達目標・行動目標、フェトリアル教育、問題作成技法講習などである。
 - ・ 授業評価アンケートは毎年前後期末に実施、集計結果は本人に通知するとともに、学生専用サイトに公開。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ ワークショップに関しては、参加教員がそれぞれの授業で反映させている。
 - ・ 授業評価に関しては本人の評価とともに、評価上位者の授業における工夫のアンケート結果も配布して授業改善の指導を行っている。
 - ・ FD講演会（テーマ：教育改革&教授法など）では、活発な討議が行われ、それらは授業改善に役立てられている。

（3）自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成21年度設置のため、まだ実績がない。本年度は募集定員8名に対して10名の入学者であった。その他の事項については、届出書のとおり履行している。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・ 平成16年9月30日 公表（平成10年度～平成14年度分）
 - ・ 平成21年7月 公表予定（平成15年度～平成19年度分）
 - b 公表方法
 - ・ 日本獣医生命科学大学 現状・評価・課題（自己点検・評価報告書）を刊行し、文部科学省、関係大学に配布する。
 - ・ 上記報告書CD版を作成し、希望者等に配布する。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・ 平成17年4月に評価機関（大学基準協会）の認証評価済（認証期間 ～ 平成22年3月）

(4) 情報提供に関する事項

① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 2 1 年 7 月 末日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.nvlu.ac.jp>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成 2 1 年 7 月 末日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.nvlu.ac.jp>)

(注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。